

氏名	梶 隆彦	所属	生物応用化学科	職位	教授
----	------	----	---------	----	----

職務	項目例	割合【%】		活動内容
		計画	実績	
教育	授業担当 卒業研究 専攻科研究 授業改善 教材開発 教科書執筆 など	計画	50	1. 本科の専門11科目(30単位)と専攻科2科目(12単位)の授業を行う。 2. シラバス記載の内容を期間内に講義し単位を修得させることにより、該当のモデルコアカリキュラム目標の達成を目指す。 3. 卒論生4名、専攻科生1名の研究指導を行う。
		実績		
研究	自主研究 外部資金研究(科研費ほか) 共同研究 技術相談 論文・解説・著書学会等発表 特許など	計画	20	1. 従来から校費で進めてきているレアメタルの分離回収に関する研究を本科生(4テーマ)および専攻科生(1テーマ)とともに進める。この課題で科研費を申請する。 2. 専攻科生の研究成果については高専シンポジウム等での発表を目指す。
		実績		
学生生活指導	学級担任 学生相談 課外活動指導 コンテスト指導 など	計画	5	1. 運動部は硬式野球部顧問として、土日祝日の対外試合の遠征に随行する。 2. 文化部は茶道部代表顧問として、週1回のお稽古に立ち会う。
		実績		
校務 / 管理運営	主事, センター長, 室長 学科長, 委員長 学級担任 主事補, センター委員, 室員 委員会委員 など	計画	20	1. キャリア支援室長として管理運営に関わる校務を担う。 2. キャリア支援室運営委員会委員長として学生のキャリア支援に関する課題の検討や実施を担う。
		実績		
社会活動	学会での活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流活動 学外団体活動 など	計画	5	今年度は該当なし
		実績		

教員業務内容報告書

報告者氏名		梶 隆彦	所属	生化	職位	教授	報告年度	令和5年度
分野	計画			実績			記載事項例	
	エフォート	内容		エフォート	内容(計画からの変更点)			
教育	50	<p>シラバス記載の内容を期間内に講義し単位を修得させることにより、該当のモデルコアカリキュラム目標の達成を目指す。</p> <p>1) 担当科目</p> <p>1C 生物応用化学入門(1単位)、創造化学実験(2単位)</p> <p>3C 物理化学1(1単位)</p> <p>4C 物理化学2(1単位)、科学技術史(1単位)、物化・化工実験(3単位)、応用化学実験(3単位)</p> <p>5C 化学工学2(4単位)、バイオ工学(2単位)、科学技術史(1単位)、卒業研究(11単位)4名</p> <p>5A 化学工学概論(1単位)</p> <p>専1 専攻科研究基礎(5単位)1名</p> <p>専2 応用物理化学(2単位)</p> <p>2) 教育方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・teamsを用いた遠隔授業の併用 ・teams上での講義資料の提示 ・課題演習の実施と解説 ・teamsを利用した時間外質問対応 		50	計画通り実施した。		担当科目名・ 単位数 卒業研究・ 専攻科研究指 導学生数 教育方法改善 内容	
研究	20	<p>今年度研究室には、本科5年生4名、専攻科1年生1名が配属予定である。専攻科生は昨年度卒業研究からの継続で、その応用研究をテーマとして予定している。本科5年生については、基本的な実験知識および技術の習得から始まり、基礎的な実験データの収集および解析まで指導する予定である。</p> <p>研究成果は、これまで化学工学会、日本溶媒抽出学会等の雑誌に投稿し、掲載されている(論文・著書等 47報)。専攻科生の研究成果については高専シンポジウム等での発表を目指したい。</p> <p>科研費への申請を準備している。</p>		20	<p>計画通り実施し、全員単位を修得した。</p> <p>専攻科生の発表は次年度を予定している。</p>		論文 著書 総説・解説 学会等発表 特許 共同研究 技術相談 科研費 外部資金	
学生生活指導	5	<p>クラブ指導</p> <p>野球部顧問</p> <p>土日祝日の対外試合の引率</p> <p>茶道部代表顧問</p> <p>週1回お稽古の立会い</p>		5	計画通り実施した。		クラブ顧問 コンテスト指導	

校務・管理運営	20	過去5年間の管理運營業務 生物応用化学科学科長、キャリア支援室長 今年度の管理運營業務 キャリア支援室長 今年度の委員会 運営委員、予算委員、企画委員、施設環境委員 他、キャリア支援室運営委員長 ・キャリア支援室運営委員会の主宰 ・就職・進学状況 ・インターンシップ ・移動届 ・キャリア講演会 ・大学編入学説明会 ・企業説明会	25	計画通り実施した。 加えて、スタートアップ 事業に関連して講演 会を実施した。	主事 その他の長 学科長 委員長 部会長 主事補等 担任 委員会委員 部会員
社会活動	5	所属学会 化学工学会、日本溶媒抽出学会、日本ゴム協会 学会活動他 今年度は該当なし	0	該当なし	所属学会名 学会活動 公開講座 出前授業 男女共同参画 国際交流 学外団体活動

(注) エフォートは各職務にかける(出力×時間)の割合(%)で表示、最小単位を10%あるいは5%とし合計100%となるように記載する。

(注) フォントのサイズは10pt～12ptとし、記入欄の行の高さは記入内容に合わせて変更する。